

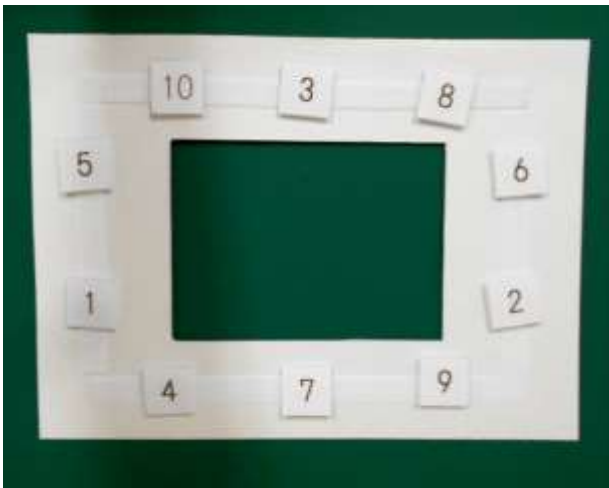
きょうざいきょうぐ しょうかい  
教材教具のご紹介

夏休みが終わり、前期後半の授業が始まりました。緊急事態宣言中で制限が多い中ではありますが、子どもたちは毎日元気に楽しく学習に取り組んでいます。

今回の支援部だよりでは、7月27日に行った全市公開研修会で作成した教材教具の紹介をします。門司総合特別支援学校にて、北九州市の特別支援学校8校が協力して、市内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の教員向けにリモートで教材教具を紹介し、作成する公開研修会を行いました。本校の職員も毎年多数参加している研修会です。

教材についての質問や、作ってみたい、使ってみてほしいなどのご希望があれば、支援部にお声かけください。

## ① ビジョントレーニング「目のジャンプ」



- 文章が正確に読めない、読み飛ばしがある、ボールを投げたり受けたりすることが苦手な子どもたちに、目を動かして物をしっかり見ることを練習するための教材です。
- 日常あまり使うことのない目の筋肉を意識して動かすことで、目の使い方が上達することをねらっています。



## ② わくわく めいろ



- 迷路を楽しみながら、目と手の協応動作を高めます。
- 磁石を動かすために鉛筆を持ち続けなくてはならないため、集中力を高めることに繋がります。
- 磁石を使わず、中にビー玉を入れて、転がして動かすタイプにも活用できます。

### ③さがしてタッチ



- ・ 目で探す力、聞いて覚える力、目標のところに身体を動かす力を育てることができます。
- ・ 「かたちタッチ」と「すうじタッチ」の2種類があります。(写真は「かたちタッチ」)
- ・ 色が同じものを探したり、色と形が同じものを探したりなど、子どもの実態に合わせたレベルに設定して取り組むことができる教材です。

### ④ラダートレーニング



- ・ 全身を駆使した運動を繰り返すことで、脳の指令を筋肉に伝える速度の向上や、バランス感覚、コントロール感覚、スピード感覚などを身体に覚え込ませていきます。
- ・ 「不器用」や「苦手」といった要素も、十分な感覚の発達によって軽減できると考えられます。

### ⑤センサリーバッグ



- ・ 「Sensory (センサリー)」とは、「感覚にかかわる、知覚の」という意味があり、袋の形をしていることから、「センサリーバッグ」と呼ばれています。
- ・ ジェル状の液体とキラキラしているものなどを入れることで、ムニムニともんでみたり、押ししたり、つまんだりして、「触覚」遊びを楽しむことができます。
- ・ 中に入れたアイテムが動く様子が面白く「視覚」遊びにもなります。